

Face to Face

笠間市に住んでいる 外国人のお顔を拝見してお話をしてみました



笠間市在住の外国人

レイ ジーニさん(写真右)

出身地：アメリカ カリフォルニア州 サンタモニカ

現住所：笠間市友部地区

家族：ご本人と長男（アメリカ在住）

I は国際交流協会の聞き手
F は外国人の声です。
では、さっそく始めましょう。

I ジーニさん、お忙しいところインタビューをお受けいただきありがとうございます。早速ですが、ジーニさんはどちらのご出身ですか。

F 私はアメリカのカリフォルニア州のサンタモニカ出身です。

I サンタモニカは私も一度だけ滞在したことがあります。海岸沿いのお店でシーフード料理を食べました。

F 美味しかったですか。

I はい、牡蠣が美味しかったことをよく覚えています。

F 良い思い出ですね。私はサンタモニカで生まれて大学生まで住んでいました。大学はペッパーダイン大学に通い教育学を勉強していました。そして大学1年生のとき、同じ大学の神学部に通っていた夫と学生結婚しました。

I 日本に来たきっかけを教えてください。

F 夫は神学部、私は教育学部を卒業しました。茨城県にあるクリスチャン系の学校で教員を募集している知り、1975年に日本に来ました。47年前のことです。

I では、47年前から、市内に住んでいるのですか。

F いいえ。日立市に10年間住んでから、当時の友部町に教会を作って引っ越してきました。

I それまでお勤めしていた学校は退職されたのですか。

F はい。主人はかねてから望んでいた宣教師という仕事で忙しい毎日でしたが、子どもが生まれ充実した年月を過ごし、地域とのつながりの輪も大きく育てることが出来ました。

I 地域とのつながりとはどのような交流ですか。

F 教会の礼拝時間にあわせて地域の人にネイティブと一緒に英語を勉強する機会を提供し、子どもたちの英語の勉強を支援したり、年3回（春、夏、冬）の長期休暇中のプログラムとして、キャ



(写真左端) ジーニさん

ンプを企画・実施してきました。

I ジーニさんのお子さんも一緒に参加されたのですか。

F はい、参加していました。息子は北川根小学校と友部第二中学校に通っていましたが、学校の子どもたちからは日本語を、私たち両親からは英語を吸収し、茨城弁と英語のバイリンガルに育ちました。高校と大学はアメリカに留学して、現地で日本人と結婚し、今はアメリカに住んでいます。

I ジーニさんは将来、アメリカにお帰りになるのですか。

F 私は4年前、夫を心臓病で亡くしました。夫の生前に、私たちは笠間市に墓所を用意していましたが、これからは笠間市で暮らしていきます。コロナが収束したら、また以前のように地域の人たちと、英語で料理をして会食を開いたり、宣教師を志して神学を勉強している学生のインターシップを受け入れたいと思っています。

I 今日はありがとうございます。